

With コロナ時代の「こむ1会フェスティバル」の復活に向けて

2022.3.10

交流小委員会（仮称）

1. はじめに

コロナ禍の中2年間こむ1会フェスティバルの開催が出来ていませんが、従来と同じ様な形式による開催は、コロナが完全に収束するまでは不可能だと思われます。そこでWith コロナを前提にしたフェスティバルの可能性について交流委員会（仮称）で検討しました。

2. フェスティバルの目的と過去の実績

フェスティバルは当初こむ1会の仲間の交流を目的に開催されました。その後地域社会との交流も目的に加え、広くPRを行い、多くの方々に参加して頂いて来りました。しかしこの2年間は、コロナ禍の中、従来型の開催は断念せざるを得ない状況に有ります。

3. 今後のフェスティバルの在り方の検討

当面コロナ禍が完全に収束するのは難しい状況にある中、「With コロナ時代」を前提としてフェスティバルを検討するのが得策との考えに至りました。

コロナは社会生活、経済活動に多大の制限を強いる結果になりましたが、その皺寄せは、未来を背負う子供たちに大きくのしかかっています。その子供たちが地域社会で仲間同士楽しく集い、そして「ボランティア活動」に触れて、学んでもらう場にフェスティバルを活用してはどうかとの提案です。

子どもたちに今我々が実行しているボランティア活動に触れてもらい、その魅力や意義を感じてもらうことは、こむ1会メンバーにとっても意義ある活動になると思われれます。

4. 具体的な内容の検討

4・1 参加者及び参加希望サークル…三密を避ける配慮を行うことを前提とする。

- 1) 参加対象は子供達（幼児～高校生）にフォーカスし、必要に応じ保護者の参加を認める。
- 2) こむ1会加入サークルは全て対象として、参加希望サークルを募集する。

4・2 参加サークル例

- 1) 子ども食堂（子ども食堂のPRと安価な食事の提供）
- 2) ブース内で活動内容の展示・紹介（楽しく学ぶためには参加型が良い）
- 3) 楽器演奏、歌等の活動紹介（従来のような3階か路上ライブ形式）

4・3 検討スケジュール

別紙を参考にしてください。

以上